

但馬の未来をデザインする

TAJIMA Design

コウノトリ育むお米に宿る命 豊岡市

“食べる貢献”という新しい価値を創造する

「コウノトリ育むお米」が環境を変える 生きものが共生する米の秘密とは？



コウノトリ育むお米

プロローグ

『このお米には「数えきれないほどの生きものの命」が宿っている。』『コウノトリ育むお米のヒミツ』と題した冊子の冒頭にはこう書かれていた。

『コウノトリ育むお米つて、農薬や化学肥料を極力減らし、有機栽培で作られた米』という認識しかなかった自分にとって、しつくりとこない言葉だった。

『米に生きものの命が宿る』とはどういう意味なのか。そこには自分たちが住む環境を見つめ直す大きなヒントが隠されていた。「食べる貢献」という新しい価値の提案に迫る。

生物多様性とは？

最近、「生物多様性」という言葉をよく耳にするようになった。「生物多様性」とは、地域の中で育まれてきた多様な生きものが、互いにつながりながらバランスを保って暮らしている状態を表す。10月には愛知県名古屋で、通称「CBD/COP10」と呼





コウノトリの築塔下で「コウノトリ育む農法」による米づくり。無農薬・減農薬栽培のため、草取りなど手間のかかる作業も多いが、こうした地道な努力が「生物多様性」の意義を實踐している。

「このお米を食べることは環境への貢献にもつながります」とは、豊岡市コウノトリ共生課の山本さん。豊岡市では農家や農協、県の農業改良普及センターなどと協力して、水田の環境づくりに取り組んできた。「食べる貢献」の意味をたくさんの人に知ってほしいと話す。

「始めは農家の方に理解してもらえず、門前払いされたこともありましたが」と語るのは、育むお米を担当するJAたじま米穀課の堀田さん。市から協力を依頼され、「コウノトリ育む農法」による試験田を設置したのは平成13年。農家に協力を頼むが、「育む農法では米はとれん」といわれた。「コウノトリ育む農法」の大きな特徴は、なんといっても水の管理。冬でも田んぼに水を張って、コウノトリの餌となる生きものを育てる。通常6月に行われる中干し（水を抜いて田んぼを乾かす）作業も、オタマジヤクシがカエルに、ヤゴがトンボになるまで延期する。田んぼはなるべく湿田の状態を保つようにしている。

さらに、田んぼと水路には生きものが行き来しやすいように魚道を設置。「生きものを増やす」という明確な意志のもとで作られているのだ。「今までの農法とは180度違いますから、農家の方が心配に思うのも当然です」とは、同課の池田課長。高度経済成長時代以降、米の需要が増えるにつれて、安定した米の生産が求められた。そのため、水の管理を減らし、機械化を行いやすくするため、

ばれる第10回目の「生物多様性条約締約国会議」、豊岡市では「コウノトリ未来・国際かいぎ」が開催され、世界的なテーマとなっている。「生きもの」にはもちろん私たち人間も含まれる。しかしながら、人間は自分たちの都合がよいように自然を変えてきた。そのため、多くの生きものが絶滅の危機にさらされ、日本にはもう存在しなくなった生きものもいる。

但馬に生きる私たちにとって、最も身近な例がコウノトリであろう。ご存知の通り、豊岡市はコウノトリの日本最後の生息地であり、現在、絶滅からの復活を目指す野生復帰プロジェクトが着々と進められている。

「このお米を食べることは環境への貢献にもつながります」とは、豊岡市コウノトリ共生課の山本さん。豊岡市では農家や農協、県の農業改良普及センターなどと協力して、水田の環境づくりに取り組んできた。「食べる貢献」の意味をたくさんの人に知ってほしいと話す。

「始めるには、育むお米を担当するJAたじま米穀課の堀田さん。市から協力を依頼され、「コウノトリ育む農法」による試験田を設置したのは平成13年。農家に協力を頼むが、「育む農法では米はとれん」といわれた。「コウノトリ育む農法」の大きな特徴は、なんといっても水の管理。冬でも田んぼに水を張って、コウノトリの餌となる生きものを育てる。通常6月に行われる中干し（水を抜いて田んぼを乾かす）作業も、オタマジヤクシがカエルに、ヤゴがトンボになるまで延期する。田んぼはなるべく湿田の状態を保つようにしている。

「始めるには、育むお米を担当するJAたじま米穀課の堀田さん。市から協力を依頼され、「コウノトリ育む農法」による試験田を設置したのは平成13年。農家に協力を頼むが、「育む農法では米はとれん」といわれた。「コウノトリ育む農法」の大きな特徴は、なんといっても水の管理。冬でも田んぼに水を張って、コウノトリの餌となる生きものを育てる。通常6月に行われる中干し（水を抜いて田んぼを乾かす）作業も、オタマジヤクシがカエルに、ヤゴがトンボになるまで延期する。田んぼはなるべく湿田の状態を保つようにしている。

「始めるには、育むお米を担当するJAたじま米穀課の堀田さん。市から協力を依頼され、「コウノトリ育む農法」による試験田を設置したのは平成13年。農家に協力を頼むが、「育む農法では米はとれん」といわれた。「コウノトリ育む農法」の大きな特徴は、なんといっても水の管理。冬でも田んぼに水を張って、コウノトリの餌となる生きものを育てる。通常6月に行われる中干し（水を抜いて田んぼを乾かす）作業も、オタマジヤクシがカエルに、ヤゴがトンボになるまで延期する。田んぼはなるべく湿田の状態を保つようにしている。

手軽にいつまでも、キレイなクルマで気持ちよく。

キーパーコーティング

3ヶ月ごとのコーティングで常にキレイ。
PURE Keeper ¥5,355~

ビューキーパー

愛車を「長くキレイに」お乗りいただくために
 紫外線や雨のほか、経年劣化によっても失われる愛車の塗装。
 キーパーコーティングは、独自に開発したコーティング剤で
 塗装を守り、新車のような美しさを長く保ちます。

世界の最高級オイル

お問い合わせ

Mobil 豊岡駅前S・S ☎ 0120-491882
 Mobil 豊岡セントラルS・S ☎ 0120-492882
 Mobil 円山川S・S ☎ 0120-493882
 Mobil 豊岡バイパスS・S ☎ 0120-495882

コーティングは当店におまかせ下さい。

Keeper 幸岡石油株式会社
COATING FOR SMART CAR LIFE



今までは考えられなかった冬期に水を張る田んぼ。たくさんのお水鳥が訪れ、アカガエルの卵も多く見られるという(上)。冬場に水を張ることで、イトミミズなどの糞で作られる細かい泥の層(トロトロ層)ができ、抑草効果もある(下)。

未来のある米づくりへの取り組み 消費者の理解を高めることが重要

湿田を乾田にする努力が行われてきた。乾いた田んぼは米を作る上では効率的だが、生きものにとってはみにくい環境になってしまった。「元々、豊岡はシル田といつて湿田

未来のある米づくりだと思いましたが」と、池田課長は話す。水の管理や土づくりを含め、農薬を減らすことによる草取りなど、何かと手間のかかる「コウノトリ育む農

帯でした。米は作りにくいけれども、生きものにとっては最高の環境だったんです。コウノトリの最後の生息地だった理由はここにあるともいわれています。今までの常識とはかけ離れた農法ですが、環境を育むという

「法」。最初は5人からスタートした取り組みも、今では生産者数が2000人を超えるまでに輪が広がった。その大きなきつかけとなったのが、平成17年9月に行われたコウノトリの自然放鳥だという。

「育む農法」の田んぼでは現在、たくさんのお米が命を育んでいる。

新しい価値への理解

「生きものと共生する米」という新しい価値を持つ「コウノトリ育むお米」。今後は作業の省力化や品質の向上はもちろんなこと、消費者にこの新しい価値観をどのように伝えるかといった課題が残されている。

「食えることが環境貢献になるといつても、美味しくなければ意味がありません。さらなる品質の向上に努める必要があります。また、生物多様性という付加価値を理解してもらうのは時間がかかると思っています。まだこの取り組みは始まったばかり。ハイブリッド車だって、今の認知を得るのに永い年月と大きな努力がなされていますから」と、堀田さんは最後に話してくれた。

「私もそうですが、大空に舞うコウノトリを見た瞬間、誰もがなんてきれいなんだろうと感じました。農家の方も同じで、自分の田んぼにコウノトリが舞い降りてきてほしいと思ったんです。成功事例もできていたので、一気に取り組みが加速しましたね」と、堀田さん。

「育む農法」の田んぼでは現在、たくさんのお米が命を育んでいる。

「コウノトリ育むお米」を消費することが、自然環境をよくすることにつながると認識している人はまだ少ない。人と人とのつながりも希薄になった今、もう一度「つながる」ということを考えてみるよききっかけになるかもしれない。

協力：たじま農業協同組合
豊岡市コウノトリ共生課

イズミホーム 豊岡元気プロジェクト

12月OPEN予定!

豊岡初 LIVE & カラオケホール JACK IN THE BOX 泉建設 横に誕生!

お得リフォームおつりプラン

おつりプランA 10万円コース 脱衣所リメイク・リフォーム	・白アリ防除 ・ペンキ塗り ・八畳床張替など
おつりプランB 30万円コース トイレ大変身 リフォーム	・台所IH工事 ・玄関サッシ入替 ・6畳床暖房など
おつりプランC 50万円コース お風呂モデルチェンジリフォーム	・エコキュート工事 ・ユニットバス工事 ・キッチン入替など

オール電化推奨!ローンのプランもあります!

無料相談 Q急24時

☎0120-243-566

こんな
時に!

トイレの水モレ・樋のつまり・
床下点検・白アリ点検など

安心・重量木構・床暖房が標準

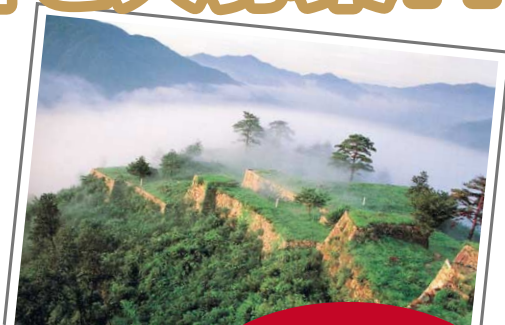
イズミホーム

泉建設株式会社 IZUMI CORPORATION
〒668-0061 兵庫県豊岡市上佐野68-1

T2読者が選ぶ!

但馬ふるさとづくり協会15周年企画

「新・但馬の七不思議」を大募集!!



T2読者の方から「但馬の不思議」を大募集します!
さらにお寄せいただいた「不思議」を読者の方が投票。
T2春号(3/1~配布開始)にて「新・但馬の七不思議」を発表!!

但馬の魅力を再発見しよう

豪華プレゼントをご用意!



※写真はイメージ

但馬ファンクラブ会員権(3年)&
「但馬牛」肩ロースすき焼き肉(500g)を
ノミネートされた方にプレゼント!!

※但し、同じ内容で複数の応募があった場合は抽選となります。
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



募集テーマの内容

(財)但馬ふるさとづくり協会では、但馬の新たな魅力発見・観光資源の掘り起こしをテーマとして、地域の皆さんだからこぞ知っている「但馬の不思議」を募集します。但馬の歴史や文化、遺跡、自然、特産品などにまつわる“但馬の不思議”な逸話や伝承をお寄せください。採用された方には素敵なプレゼントを進呈します。

- *地元へ古くから伝わる伝承や伝説、自然現象
- *巨木・奇岩に代表されるパワースポット
- *地域の特色を表した不思議な習わしや祭りなど
- *郷土料理や特産品 などなど、何でも大募集します!

選定方法

ご応募いただいた情報を事務局内で15程度ノミネートして、次の冬号(12/1~配布)にて紹介します。さらにノミネートされたものの中から、「但馬の七不思議」にふさわしいと思われるものを1つ読者に投票していただきます。得票数などを考慮して、7つをT2読者が選んだ「新・但馬の七不思議」として決定します。

応募方法・応募先

ハガキ、FAX、インターネットで応募

「但馬の不思議」に関する事柄(推薦理由含む)、お名前、フリガナ、郵便番号、住所、電話番号、生年月日を記入
※インターネットの場合は、ホームページ「但馬情報特急」の“但馬の七不思議”募集ページから応募できます。
URL:<http://www.tajima.or.jp/>

〒668-0043 兵庫県豊岡市桜町10-11 T2編集部 宛
TEL.0796-24-6373 / FAX.0796-24-6378
*応募締切:2010年10月末日まで

応募いただける数に限りはありません。なお、応募いただいた個人情報については採用の連絡のみに使用し、第三者に提供することはありません。

但馬の情報は **但馬情報特急**

<http://www.tajima.or.jp> Tajima Express



Yes Smile! Good Life

専門医による

あんしん
安心

インプラント無料相談会

失った歯を取り戻すために、インプラントにする人が増えています。でも、インプラントは全ての人に一番良い治療法と言うわけではありません。それにインプラント治療にもいくつかの種類があり、自分にとって最適な治療がどのようなものかわかっていないと、後から後悔することにもなりかねないのです。安心インプラント無料相談会は、これまで500名以上の方が利用し、快適で豊かな人生を手に入れている、信頼のおける相談会です。大切な自分の体のことだから、歯医者に任せてお任せしなさいで、自分でしっかり知識を身につけてください。

宝塚インプラントセンター
TEL 0797-83-0095
〒685-0835 兵庫県宝塚市旭町3-2-9-2A

インプラントセンター篠山
TEL 079-594-2007
〒686-2202 兵庫県篠山市東吹343-3

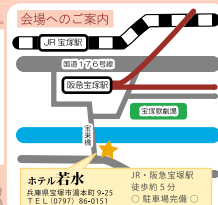
入れ歯やブリッジのお悩みなどお気軽にご相談ください。あなたの疑問にインプラント専門医が丁寧にお答えいたします。

開催場所: 宝塚温泉 ホテル若水

安心インプラント無料相談会は、宝塚の『ホテル若水』を中心に、様々な場所で定期的に行っています。日程や場所のお問合せ、ご予約に関しましては、下記の電話番号にお気軽にお問合せください。一人で悩んでいないで、今すぐお電話を。

ご予約・お問い合わせ専用フリーダイヤル

0120-007-355



ホテル若水
兵庫県宝塚市温泉町9-25
TEL.0797-86-0131

JR・阪急宝塚駅
徒歩約5分
〇 駐車場完備